

マーケティング事業「a yeLL」(中央区)

奥村 侑子 さん(45)



奥村侑子さん(45)は、全国にカフェを展開する飲食事業に24年携わった経験を生かして昨年、ブランドとして起業。飲食店などに業務改善やブランディング、従業員教育などをアドバイスしている。

高校卒業後、飲食店や衣料販売を手掛ける「サザビリーク」に就職し、喫茶店アフタヌーンティーティールームに配属。東京や大阪、福岡などで店長やエリアマネージャーを務めた。上海出店時の現地スタッフ教育や販売促進、本社人事などにも経験したが、「新しいことにチャレンジしたい」と33歳で退職した。「世の中で活躍できる人材を育てるのが企業理念だった。自分も誰かの力になりたい」と考えました。

再就職のあてもなく、同僚だった先輩を訪ねて2年前に旅行で阿蘇市を訪れた際、移住を即決したという。「熊本には縁もゆかりもなかったけど、身近な自然や人のつながりなど、自分の生活になかったものがあつた。ひきつけられました」。現在はレストランやパ

MEMO

◆プロフィール
本名・佐藤千恵香。1976年、熊本市生まれ。済々養高、熊本県立大卒。中央区在住。夫の太一さんは、結婚指輪や帯留めなどを制作。

◆創業資金
約20万円(主に、アトリエの開設費)

◆續に続く人へ
アクセサリーの配色は、植物図鑑や花などを見てアイデアを得ています。逆に、影響を受けるのを避けるため、ほかの人の作品は見ないようにしています。



さとう千恵香さんが手作りしたプレスレットやピアスなどのアクセサリー。右下は犬の首輪

顧客の喜び やりがいに

ン店、生活用品店などのコンサルティングを行っている。売り上げや来客数などの数値、従業員の意識、店の雰囲気などから現状を分析して問題点を洗い出し、改善点を伝える。中には、半年間で売り上げが前年比3割増になった店も。「クライアントさんに喜んでもらえるのが一番」とやりがいを感じる。

結果を出すのが、奥村さんの使命だ。「甘えは絶対に許されない。今は、信用を積み重ねている時期と表情を引き締めた。

フチ 起業のススメ — Woman's Style —

等身大で「起業」し、自分らしく働く女性たちを紹介します。(西山美香)

奥村侑子さんの仕事の必需品。パソコンは、どんなクライアントにも対応できるようにソフトをカスタマイズしている



さとう千恵香さん(43)は、アクセサリーを制作・販売する「アトリエ・nest」を経営。今年5月には新たに、オーダーメイドの結婚式を企画する「ネストウエディング」を立ち上げた。

海外で流行している業界でナチュラルな「ラスティックウエディング」を知り、「創作活動で培った人脈と、自分の表現力や発想力を組み合わせ、新しい結婚式をデザインしたい」と思った。千恵香さん。6月、初めてブライダルフェアを開き、こだわりの料理やドレス、結婚指輪などを披露

アクセサリー制作・販売
「アトリエ・nest」(中央区出水)

さとう千恵香 さん(43)



独創性追い 新分野開く

寫、形式にとらわれない個性的なフェアに、多くの人が感嘆した。

大学卒業後、金融会社に就職。仕事の傍ら、ブライベイトでアクセサリー制作を始め、イベントなどで販売した。受注が増え、全国からプロの業者が集まる展示会からも声がかかるようになり2007年に退職。16年、夫太一さん(35)とともにアトリエを構えた。

中央区の出水、分れあい通りにあるアトリエには、ピンテーシースやアンティークボタン、レザー、天然石などで手作りしたネックレスやプレスレット、イヤリングなどが並ぶ。県内外のマルシェや百貨店のイベントに出店したり、ホームページを見た人がオファーに訪れたりしている。

インターネットで手軽に買える時代だが、ネットショップはあえて開設していない。「手に入りにくい」スタンスにしたかった。物があふれている世の中だからこそ、実際に見たり触れたりすることを大事にしたいんです。結婚式もアクセサリーも、オリジナルリテイヤーを追求している。

校(京都市)
NO. SID
を期間限定で
一を販売しな
として、ラガ
横しまをラベ
強い苦みと香
A」と呼ばれ
330円の
378円
相談室07
72。

イオンは、歯
れ過ぎると歯
ランクリニカ
NEXT S
シを発売した
因にもなるカ
する。ハンド
ツシク庄を
加わるとニカ
参考価格は3
せは通話無料
0120)



窓口に01
問い合わせは
問い合わせは
問い合わせは
問い合わせは

新